

教育研究活動一覽

(校長)

Thin observation module by bounded optics (TOMBO): concept and experimental verification

J. Tanida, T. Kumagai, K. Yamada, S. Miyatake, K. Ishida, T. Morimoto, N. Kondou, D. Miyazaki, and Y. Ichioka

Appl. Opt. Vol. 40, No.11, pp. 1806-1812

(2001年11月1日)

Diffraction Phase Element for Shrinking Focal Spot Diameter: Design, Fabrication, and Application to Laser Beam Lithography

Usuke Ogura, Jun Tanida, Yoshiki Ichioka, Yoshiaki Mukuno, and Katsunori Matsuoka

Opt. Rev. Vol. 8, No.6, pp. 416-421

(2001年12月1日)

Two-dimensional image transmission based on the ultrafast optical data format conversion between a temporal signal and a two-dimensional spatial signal

K. Iwamoto, T. Konishi, J. Tanida, and Y. Ichioka

Appl. Opt. Vol. 40, No. 35, pp. 6527-6633

(2001年11月16日)

Ultrafast Temporal-to-Two-Dimensional-Space Conversion System Using SHG Crystal

Y. Oshita, T. Konishi, and Y. Ichioka

Opt. Rev. Vol. 9, No. 4, pp. 141-145

(2002年8月1日)

テラ光情報システム用微細光学素子ト加工

一岡 芳樹

JAREC「地域から発信する科学技術シンポジウム」先端加工技術

(2001年6月25日 講演)

画像処理

一岡 芳樹

オプトメカトロニクス協会研修会

(2002年6月4日 講演)

複合機能回折光学素子の作製と応用

一岡 芳樹、豊田 宏、四谷 任

第27回光学シンポジウム

(2002年6月20日 講演)

ULTIMATE: Ultrafast all-optical processors for temporal-spatial information processing and conversion

Yoshiki Ichioka and Tsuyoshi Konishi

19th Congress of the international Commission for Optics

(2002年8月27日 講演)

Optical Information Processing, in Chap.14. Ultrafast Temporal-Spatial Optical Information Processing, Conversion, and Transmission

Yoshiki Ichioka and Tsuyoshi Konishi

SPIE Press

(2002年7月1日 発行)

(機械工学科)

機械設計法 (第2版)

岩井 保善

日本材料学会編 (共著)

(2002年9月 発行)

Rotordynamic Fluid Force Moments on a n Open-type Centrifugal Compressor Impeller in Precessing Motion

Y.Yoshida(Osaka Univ.),Y.Tujimoto(Osaka Univ.), D. Yokoyama (Osaka Univ.),H.Ohashi(Kougakuin Univ.) and F.Kano
International Journal of Rotating Machinery
2001,Vol.7, No.4, pp.237-251.
(October, 2001)

ニュートン流体で満たされた波状スリット流路内を通過する高分子流体の流れ

岸根 章典(専攻科), 小柴 孝, 森 教安(阪大院工),
中村 喜代次(阪大院工)
第49回レオロジー討論会
(2001年10月25日 講演)

ニュートン流体で満たされた波状スリット流路内における高分子流体の粘弾性挙動

川越 浩平(阪大), 小柴 孝, 森 教安(阪大院工), 中村 喜代次(阪大院工)
日本機械学会関西支部
関西学生会卒業研究発表講演会
(2002年3月21日 講演)

波状スリット流路内のニュートン流体に対する高分子流体の浸透流れ

小柴 孝, 岸根 章典(専攻科), 森 教安(阪大院工), 中村 喜代次(阪大院工)
日本機械学会200年度年次大会
(2002年9月25日 講演)

基礎生産加工学

小島 耕二、小坂田 宏造(阪大基工)、上田 隆司(金沢大)、川並 高雄(金沢工大)、久保 勝司(摂南大)、塩見 誠規(阪大基工)、須藤 正俊(金沢工大)、山部 昌(金沢工大)
朝倉書店
(2001年10月10日 発行)

高専における教育と研究

小島 耕二
第167回教育理学研究会
(2002年1月27日 講演)

曲げ加工の基礎

小島 耕二
日本塑性加工学会 第141回塑性加工技術セミナー
(2002年8月30日 講演)

ダイレスフォーミング

小島 耕二
中小企業テクノフェア—2002(インテックス大阪)
(2002年9月11~13日 パネル展示)

古代製鉄法「たたら吹き」の再現と日本刀

小島 耕二
奈良工業会異業種交流研究会
(2002年9月24日 講演)

不織布を用いた空気清浄空管の開発

坂本 雅彦、森田 智文(奈良高専)、横山 光雄、山下 智史、泉 喜一郎(㈱サンロード)
日本機械学会流体工学部門講演会
(2001年10月2日 講演)

不織布を用いた空気清浄空管に関する研究

坂本 雅彦、泉 喜一郎(㈱サンロード)
36th 空気調和・冷凍連合講演会
(2002年4月16日 講演)

蒸気を直接の駆動源とする推進装置に性能向上に関する研究

蔦原 道久(神戸大学)、小川 和彦、坂本 雅彦、松井 隆宏(神戸大学)、舟橋 雅司
日本機械学会年次大会
(2002年9月25日 講演)

ジャーナル滑り軸受の混合潤滑摩擦特性におよぼすトランケーションの影響

宮崎 裕貴(専攻科), 大橋 諭, 高田 敬士, 野々垣 稔,
中原 綱光 (東京工業大学)
(社)日本トライボロジー学会 トライボロジー会議 2002
春 東京
(2002年5月13日 講演)

ジャーナル滑り軸受の混合潤滑摩擦特性におよぼすトランケーションの影響

野々垣 稔
(社)日本トライボロジー学会 “超”を目指す軸受技術
研究会 第7回研究会
(2002年9月28日 講演)

事例に基づく構造物の概念設計支援 ---経験に基づく直感的意思決定の取扱い---

平 俊男
第51回システム制御情報学会講習会「定量化が困難な
情報の取扱い ---経験・感覚・感性---

形状意匠設計における進化的アプローチの利用

平 俊男, 菱田 元樹(奈良高専専攻科)
日本機械学会関西支部 第77期定時総会講演会
(2002年3月22日 講演)

地震に強い建物の秘密

平 俊男, 酒井 史敏
青少年のための科学の祭典2001 奈良大会ガイドブッ
ク, p.12
(2001年10月27日)

Tool Wear of CBN Toos in Cutting of Sintered Steel

WADA Tadahiro, HIRO Kazuki, TOIHARA Takaomi
(OSG Corporation), FUJIWARA Junsuke (Osaka
University) and HANASAKI Shinsaku(Osaka
University)
Progress of Machining Technology, pp.111-116
(2002年9月10日)

焼結鋼切削におけるCBN工具の切削性能

和田 任弘, 戸井原 孝臣 (オーエスジー)
粉体および粉末冶金, 49巻9号, pp.773-779.
(2002年9月15日)

焼結材料切削における工具摩耗

和田 任弘
日本鉄鋼協会学会部門, 総形創質工学部会「切削フ
ォーラム」主催, 第12回講演討論会
(2001年10月12日 講演)

焼結鋼切削における工具摩耗

和田 任弘, 今井 英貴 (専攻科), 戸井原 孝臣 (オーエ
スジー)
日本機械学会関東支部・精密工学会共催山梨講演会
(2001年10月20日 講演)

機械工作法

平井 三友 (大阪府立高専), 和田 任弘, 塚本 晃久 (大
阪府立高専)
コロナ社
(2001年9月10日初版第3刷発行, 2002年9月25日初版
第4刷 発行)

ADIの外丸削り---旋削における工具摩耗---

和田 任弘
機械振興協会 技術研究所
加工技術データファイル 平成14年度事例追補,
No.3909.

FCD700の外丸削り---高速度旋削における工具摩耗---

和田 任弘
機械振興協会 技術研究所
加工技術データファイル. 平成14年度事例追補,
No.3910.

SCr420の外丸削り—高速度旋削における工具摩 耗—

和田 任弘

機械振興協会 技術研究所

加工技術データファイル 平成14年度事例追補,
No.3918.

(電気工学科)

Analog LSI implementation of biological direc- tion-selective neurons

M. Ohtani, H. Yamada, K. Nishio, H. Yonezu and Y.
Furukawa (Toyohashi University of Technology)

Japanese Journal of Applied Physics, Vol. 41, No. 3A,
pp. 1409 – 1416

(2002年3月)

無脊椎動物の視覚システムに学んだ時空間コン トラスト検出機構のアナログ電子回路化

大谷 真弘, 山田 仁, 西尾 公裕, 古川 雄三, 米津 宏雄
(豊技術科学大学)

電子情報通信学会 ニューロコンピューティング研究会
(2002年3月19日 講演)

生物に学んだ時空間コントラスト検出機構の二 次元アナログネットワーク化

大谷 真弘, 米津 宏雄 (豊橋技術科学大学)

電子情報通信学会 集積回路研究会

(2002年9月27日 講演)

高導電性Liイオンゲル電解質に関する基礎研究

南 俊幸, 森島 香奈, 沢田 英夫, 京兼 純

平成13年電気関係学会関西支部連合大会(G7-8)

(平成13年11月7日 講演)

ポリウレタンエラストマーにおける圧電効果に 関する基礎研究

徳木 健太郎, 中間 勇二, 大久保 佳洋, 京兼 純,

上田 敦 (ニッタ株)

平成13年電気関係学会関西支部連合大会(G7-11)

(平成13年11月7日 講演)

Electrical Properties of Fluorinated Gel Electrolyte using High Conducting Solution

T. Minami, K. Morishima, H. Sawada and J. Kyokane

International Conference on Electrical and Electronic
Material Engineering (ICEME 2001), Osaka, Japan

(November 30, 2001, Poster Presentation)

Piezoelectric Effect and Actuator Mechanism of Fullerenol doped Polyurethane Elastomer (PUE)

K. Tokugi, Y. Nakama, T. Ueda and J. Kyokane

International Conference on Electrical and Electronic
Material Engineering (ICEME 2001), Osaka, Japan

(December 1, 2001, Oral Presentation)

Piezoelectric Effect and Actuator Mechanism of Fullerenol doped Polyurethane Elastomer (PUE)

K. Tokugi, Y. Nakama, T. Ueda and J. Kyokane

J. Soc. Elect. Mat. Eng., Vol.10, pp.123-126

(2001年12月)

Electrical Properties of Fluorinated Gel Electrolyte using High Conducting Solution

T. Minami, K. Morishima, H. Sawada and J. Kyokane

J. Soc. Elect. Mat. Eng., Vol.10, pp.165-167

(2001年12月)

新規フッ素系ゲル電解質の諸特性と二次電池へ の応用

京兼 純、南 俊幸、森島 香奈、沢田 英夫

第168回 電気材料技術懇談会

(平成14年3月13日 講演)

ポリウレタンエラストマー・アクチュエータ

京兼 純、吉野 勝美 (大阪大学)、上田 敦、古賀

伸一 (ニッタ株)

特願 2002-084122

(平成14年3月25日 出願)

ポリウレタンエラストマー圧電素子及び感圧センサー並びに接触センサー

京兼 純、吉野 勝美 (大阪大学)、上田 敦、古賀伸一 (ニッタ株)

特願 2002 - 084123

(平成14年3月25日 出願)

フラレノール添加PUEのアクチュエータ機能と圧電効果

中間 勇二、徳木 健太郎、大久保 佳洋、京兼 純、上田 敦 (ニッタ株)

平成14年電気学会全国大会(2-140)

(平成14年3月26日 講演)

高導電性Liイオンゲル電解質に関する基礎研究(II)

南 俊幸、森島 香奈、沢田 英夫、京兼 純

平成14年電気学会全国大会(2-141)

(平成14年3月26日 講演)

国際協力の本質とは

～国際協力の意味を原点から考える～

京兼 純

NPO京都海外協力協会・JICA大阪国際センター主催
国際協力フォーラム

(平成14年5月26日 パネラー)

Electrical Properties of Fluorinated Gel Electrolyte using High Conducting Solution and Its Application to Lithium Ion Secondary Battery

J. Kyokane, K. Morishima, T. Minami and H. Sawada

International Conference on Science and Technology of Synthetic Metals (ICSM 2002), Shanghai, China

(July 1, 2002, Oral Presentation)

Piezoelectric Effect and Actuator Mechanism of Fullerene Doped Polyurethane Elastomer

Y. Nakama, K. Tokugi, J. Kyokane and T. Ueda (Nitta Co.)

International Conference on Science and Technology of Synthetic Metals (ICSM 2002), Shanghai, China

(July 1, 2002, Poster Presentation)

Electrical Properties of Fluorinated Gel Electrolyte using Conducting Solution and Its Application to Lithium Ion Secondary Battery

J. Kyokane, K. Morishima, T. Minami and H. Sawada

Proceedings of 14th International Conference on Dielectric Liquid (ICDL 2002),

pp.365-368, Graz, Austria

(July 10, 2002, Poster Presentation)

多視点の選択制御による身振りの実時間画像認識

桐島 俊之、佐藤 宏介 (大阪大学)、千原 國宏 (奈良先端科学技術大学院大学)

電子情報通信学会論文誌 (D-II), Vol.J84-D-II, No.11, pp.2398-2407

(2001年11月)

注視点の学習と選択制御による身振りの実時間画像認識

桐島 俊之、佐藤 宏介 (大阪大学)、千原 國宏 (奈良先端科学技術大学院大学)

電子情報通信学会技術報告, PRMU2001-203, pp.69-76

(2002年1月17日)

文化財画像データベース閲覧のための利用者インタフェースの開発

田村 哲郎、桐島 俊之、成田 紘一

第9回高専卒業研究発表会講演論文集, pp.9-10

(2002年3月7日)

a-Si PVモジュールの方位に対する発電量推移の解析

田中 吉治 (専攻科), 山脇 竹治 (カネカ), 水上 誠志郎 (カネカ), 寺西 大, 高橋 晴雄
平成13年電気関係学会関西支部連合大会 G6-1
(2001年11月6日 講演)

風量の1/fゆらぎ制御法の開発Ⅲ

福山 広 (専攻科), 寺西 大, 高橋 晴雄
平成13年電気関係学会関西支部連合大会 G4-14
(2001年11月7日 講演)

機械系の電子回路

高橋 晴雄, 阪部 俊也 共著
コロナ社
(2001年10月 発行)

3種の音響信号を用いた紙幣の新旧識別

寺西 大, 大松 繁 (大阪府立大学)
2002年統計数理研究所共同研究レポート150「理・工・医学における揺らぎ現象のモデル化と人間情報処理」, p.39-45
(2002年3月1日 講演)

Neuro-Classification of Bill Fatigue Levels Based on Acoustic Wavelet Components

M. Teranishi, S. Omatu (Osaka Pref. Univ.), and T. Kosaka (Glory Ltd.)
Proceedings of 2002 International Conference of Artificial Neural Networks (in Press)
(2002年8月29日 講演)

ビデオクリップにおける音響-輝度差の調査

大元 靖理, 土井 滋貴
平成13年電気関係学会関西支部連合大会
(2001年11月7日 講演)

グラディエント操作を用いた風景画像の識別

西川 勇作, 土井 滋貴
平成13年電気関係学会関西支部連合大会
(2001年11月7日 講演)

ビデオクリップにおける輝度・音響データの正規化法

大元 靖理, 土井 滋貴
電子情報通信学会 関西支部 学生会学生研究発表講演会
(2002年3月6日 講演)

焦点距離の違いによる風景画像の特徴量変化

西川 勇作, 土井 滋貴
電子情報通信学会 関西支部 学生会学生研究発表講演会
(2002年3月6日 講演)

パソコンによる動画計測とその周辺

土井 滋貴
大阪電気通信大学短期大学部特別講義
(2001年11月12日 講演)

Win32API関数を使ったVisual C++プログラミング技術

土井 滋貴
香川県システム技術研究会
(2002年3月6、7日 講演)

掌と筆記時の手形状を用いた個人照合の検討

田村 寿人, 中村 善一
平成13年電気関係学会関西支部連合大会
(2001年11月6日 講演)

オンライン筆者照合に用いる筆跡の検討 -署名とパスワードの比較-

若林 秀幸, 中村 善一
平成13年電気関係学会関西支部連合大会
(2001年11月7日 講演)

奈良高専演習用端末のレジストリ管理について

二宮 由成, 成田 紘一, 中村 善一, 中裏 良一, 川辺 涼子
第22回高専情報処理教育研究発表会
(2002年8月27日 講演)

奈良高専における高速ネットワークシステムについて

川辺 涼子、本間 啓道、成田 紘一、中村 善一、中裏 良一、
二宮 由成

第22回高等専門学校情報処理教育研究発表会
(2002年8月27日 講演)

奈良高専演習用端末のレジストリ管理について

二宮 由成、成田 紘一、中村 善一、中裏 良一、川辺 涼子

第22回高等専門学校情報処理教育研究発表会
(2002年8月27日 講演)

奈良高専における1年生対象コンピュータ利用アンケート調査結果

川辺 涼子、成田 紘一、中村 善一、中裏 良一、二宮 由成

第22回高等専門学校情報処理教育研究発表会
(2002年8月27日 講演)

(電子制御工学科)

未知環境における歩行ロボットの進化的歩行改善の一構成

飯田 賢一、平 俊男、鎌野 琢也 (徳島大学), 鈴木 茂行
(徳島大学)

第11回インテリジェント・システム・シンポジウム
(2001年9月25日 講演)

球状車輪型全方向移動車輛の駆動軸協調制御

飯田 賢一、川西 努、鎌野 琢也 (徳島大学), 鈴木 茂行
(徳島大学)

電気関係学会東海支部連合大会
(2001年11月29日 講演)

目標指令を持つ多足歩行ロボットにおける脚動作パターンの進化的獲得

飯田 賢一、平 俊男、鎌野 琢也 (徳島大学), 鈴木 茂行
(徳島大学)

電気関係学会東海支部連合大会
(2001年11月29日 講演)

駆動軸協調制御を用いた全方向移動車輛の応答特性

飯田 賢一、川西 努、鎌野 琢也 (徳島大学), 鈴木 茂行
(徳島大学)

電気学会全国大会
(2002年3月27日 講演)

四足歩行ロボットにおける脚動作の進化的最適化

中田 佳孝、飯田 賢一、平 俊男、鎌野 琢也 (徳島大学),
鈴木 茂行 (徳島大学)

システム制御情報学会研究発表講演会
(2002年5月15日 講演)

2自由度平行リンク型ロボットを用いた学習制御による対象物の力制御

櫛 弘明、山田 昌弘 (豊橋技大)、川村 貞夫 (立命)

機械学会ロボティクスメカトロニクス講演会2002

(2002年6月8日 講演)

(2002年3月18日 講演)

位相シフトスペckル干渉法における量子化誤差の影響

押田 至啓、岩橋 善久 (大阪産大)、岩田 耕一 (大阪府大)

Optics Japan 2001 日本光学会年次学術講演会

(2001年11月7日 講演)

位相シフトスペckル干渉法における量子化誤差と精度

玉木 隆幸、押田 至啓、岩橋 善久 (大阪産大)

2002年精密工学会春季大会学術講演会

(2002年3月30日 講演)

Measurement of spatial differentiation of displacement using a phase-shifting speckle shearing interferometer

押田 至啓、岩橋 善久 (大阪産大)、岩田 耕一 (大阪府大)

SICE Annual Conference 2002

(2002年8月7日 講演)

自動追尾カメラを用いたサッカーロボットの基礎研究

山本 真也、横田 徹夫、道下 貴広、阪部 俊也
日本機械学会関西支部学生員卒業研究発表講演会論文集
(2002年3月21日 講演)

YAG レーザクリーニング音の特性解析

塩田 博明、東郷 先、平尾 大輔 (早稲田大)、阪部 俊也
日本機械学会関西支部学生員卒業研究発表講演会論文集
(2002年3月21日 講演)

光ファイバを用いたYAG レーザクリーニングの研究

小野 真意人、岡本 研嗣、平尾 大輔 (早稲田大)、阪部 俊也
日本機械学会関西支部学生員卒業研究発表講演会論文集
(2002年3月21日 講演)

重度聴力障害学生のための工学教育支援体制

島岡 三義、押田 至啓
日本工学教育協会平成14年度工学・工業教育研究講演会 (第50回年次大会)
(2002年7月21日 講演)

Behavior of Water Flowing Down on a Horizontal Tube (Passing rate and modification of heat transfer characteristic in dropwise condensation)

Tsutomu HOSOKAWA (姫工大), Toshio NAKATA, Yousuke KAWASHIMA (姫工大) and Fumiyoshi KIMURA (姫工大)
Proc. of International Conference on Power Engineering pp1017-1023
(2001年10月8-12日)

脈動噴流蒸気中における鉛直平面上の滴状凝縮熱伝達

中田 敏夫, 細川 力 (姫工大), 島岡 三義, 北條 勝彦 (大工大)
空気調和・衛生工学会論文集 No.84 pp71-76
(2002年1月)

傾斜平面における脈動噴流蒸気の滴状凝縮熱伝達と滴挙動

中田 敏夫, 細川 力 (姫工大), 熊丸 博滋 (姫工大), 北條 勝彦 (大工大)
空気調和・衛生工学会近畿支部学術研究発表会

Basic Study to Develop an Active Supporter with Human Compatibility

Y. Hayakawa, H. Mori, R. Tsuda, H. Inaduka, H. Tabuchi, M. Aichi, S. Hamasaki, S. Nakanishi, S. Higashiura (Nitta) and T. Kodaka(Nitta)
Proceedings of Biomechanics and Biomedical Engineering
(2001年10月31日 講演)

空気圧能動サポータ開発のための基礎研究

津田 竜士, 早川 恭弘, 森 弘暢, 相地 美奈, 濱崎 幸代, 田淵 秀明
平成13年秋季フルードパワーシステム学会
(2001年11月9日 講演)

空気圧モータの省エネルギー化に関する検討

稲塚 寛, 早川 恭弘
計測自動制御学会 SI部門学術講演会
(2001年12月21日 講演)

人間親和性を有するサポータを開発するための生体計測

早川 恭弘, 森 弘暢, 津田 竜士, 相地 美奈, 濱崎 幸代, 小高 徹 (ニッタ株), 東浦 伸次 (ニッタ株)
計測自動制御学会 SI部門学術講演会
(2001年12月22日 講演)

ハイブリッド型空気圧・電気駆動モータの設計と制御

武村 史朗 (立命大), S. R. Pandian (立命大), 早川 恭弘, 川村 貞夫 (立命大)
 日本機械学会論文集 (C編), 68巻, 665号, pp 117-124
 (2002年1月)

空気圧・電動ハイブリッドモータの開発

早川 恭弘
 油空圧技術, 第41巻, 第3号, pp57-62
 (2002年3月)

空気圧ウエアラブル

早川 恭弘
 油空圧技術, 第41巻, 第5号, pp49-54
 (2002年5月)

シリコン外殻型発泡ゴムアクチュエータに関する基礎研究

早川 恭弘, 津田 竜士, 森 弘暢, 相地 美奈, 濱崎 幸代, 小高 徹 (ニッタ株), 東浦 伸次 (ニッタ株)
 日本フルードパワーシステム学会平成14年春季フルードパワーシステム講演会
 (2002年5月23日 講演)

シリコン外殻型発泡ゴムアクチュエータを用いた福祉介護用能動サポータの開発

早川 恭弘, 森 弘暢, 相地 美奈
 フルードパワーシステムワークショップ講演論文集
 (2002年6月11-14日 講演)

人間親和性を有する福祉介護用移動式移乗機を開発するための生体計測

早川 恭弘, 相地 美奈, 南崎 嘉伸
 フルードパワーシステムワークショップ講演論文集
 (2002年6月11-14日 講演)

Study on Sponging Rubber Actuator Covered with Silicon

Y. Hayakawa, M. Aichi, H. Mori, T. Kodaka(Nitta), S. Higashiura (Nitta) and S. Kawamura
 計測自動制御学会講演会
 (2002年8月6日 講演)

ハイブリッド型 (空気圧・電気駆動) モータの開発と制御

武村 史朗 (立命大), 川村 貞夫 (立命大), S. R. Pandian (ミシガン大学), 早川 恭弘
 機械設計, 第46巻, 第12号, pp 47-51
 (2002年8月)

人工筋肉の一要素としての超音波モータ実時間制御システムの研究

矢野 順彦, 藪上 勝宏, 村田 祐一, 阪部 俊也
 日本機械学会 関西支部第77期定時総会講演会
 (2002年3月23日 講演)

温度センサを用いた超音波モータの速度制御に関する研究

矢野 順彦, 藪上 勝宏, 藤田 直生, 阪部 俊也
 日本機械学会 ロボティクスメカトロニクス講演会
 (2002年6月9日 講演)

The Frequency Responses for the Physical Model Construction of the Ultrasonic Motor

Yorihiko Yano, Yuichi Murata
 The 41st SICE Annual Conference 2002 in Osaka
 (2002年8月5日 講演)

各種非線形要素を含んだ電気・電子回路の時間領域汎用解析手法

山本 和男
 エネルギー工学研究会
 (2001年12月21日 講演)

A Study of Subsidiary Techniques Based on Combined Iterative Method for a Nonlinear Transients Analysis

Kazuo Yamamoto, Akihiro Ametani (Doshisha University)

Transaction of The Institute of The Electrical Engineers of Japan (IEEJ) Vol. 122-B No.2 pp.168-173.

(2002年2月1日)

非線形過渡解析におけるコンダクタンス行列の縮小化

谷口 雅之 (奈良高専電子制御工学科5年), 山本 和男
平成13年度電気学会高専卒業研究発表会 No.12 pp23-24.

(2002年3月7日)

過渡解析のための非線形コンダクタンス行列変換手法

山本 和男, 谷口 雅之 (奈良高専電子制御工学科5年)
平成14年度電気学会全国大会 6-011.

(2002年3月21日)

An Improvement of Computation Error Caused by an Linear Interpolation Method

Kazuo Yamamoto, Nbutaka Mori, Naoto Nagaoka, Akihiro Ametani (Doshisha University)

The International Conference on Electrical Engineering 2002 Vol. V, pp.2253-2258.

(2002年7月7日)

FDTD法を用いた電磁界解析における簡略斜導体表現法

山本 和男, 壺岐 浩幸 (FFCシステムズ)

平成14年度電力・エネルギー部門大会 Vol. A, pp.234-239.

(2002年8月7日)

(情報工学科)

SMILを利用した衛星画像のマルチメディア教材化に関する研究

浅井 文男、平野 年恵(シャープ)、有本 和恵(富士通ビジネス)、花田 和香子(ケーブルアンドワイヤレス)

松下視聴覚教育財団 平成13年研究開発助成報告書.

(2002年3月31日)

学校教育におけるアマチュア通信衛星を利用した電気通信教育

浅井 文男

電気通信普及財団 平成14年度研究調査報告書

(2002年6月30日)

アマチュア衛星データ配信システムの構築と教育利用

浅井 文男

教育システム情報学会 インターネットとその教育応用研究部会 第86回研究会 研究報告 Vol.2001, No.4, pp.11-16

(2001年12月8日 講演)

SMILを利用した衛星画像のマルチメディア教材化

浅井 文男、有本 摩那、平野 年恵(シャープ)

情報処理学会 コンピュータと教育研究会 第62回研究会

研究報告 Vol.2001, No.122, pp.49-54

(2002年12月14日 講演)

Multi-Expert Seal Imprint Verification System for Bankcheck Processing

Katsuhiko Ueda and Ken-ichi Matsuo

Fifth IAPR International Workshop on Document Analysis Systems (Princeton, USA)

(2002年8月19日 講演)

文書鑑定のためのコンピュータ支援システム

上田 勝彦, 松尾 賢一, 中村 善一

情報処理学会 人文科学とコンピュータ・シンポジウム

(2002年9月22日 講演)

信号値遷移確率を用いた低電力Wallace Tree型乗算回路構成法の検討

石井 健一, 本間 啓道, 世古 忠

平成13年電気関係学会関西支部連合大会講演論文集, G248

(2001年11月7日 講演)

インターネットにおける情報倫理に関する意識調査(6)

工藤 英男, 内田 眞司 (近畿大学工業高等専門学校), 武村 泰宏 (大阪芸術大学短期大学部), 吉川 博史 (南大阪大学)

文部科学省平成13年度情報処理教育研究集会

(2001年10月13日 講演)

信号値遷移確率を用いた低電力回路構成法の乗算回路への適用

石井 健一, 世古 忠

第7回電子情報通信学会関西支部学生研究発表会論文集, A9

(2002年3月6日 講演)

インターネットにおける情報倫理に関する調査—練習問題による教育前の学校間での相違—

内田 眞司 (近畿大学工業高等専門学校), 工藤 英男
近畿大学工業高等専門学校紀要, 第17号, pp.15-20

(2001年12月)

“On-Line Edge-Coloring Algorithms for Degree-Bounded Bipartite Graphs,”

Masakuni TAKI, Mikihito SUGIURA (Matsushita Tuushin Co.), Toshinobu KASHIWAHARA (Osaka Univ.)

IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Vol.E85-A, No.5, pp.1062-pp.1065

(May, 2002.)

ソフトウェア機能の知識共有における履歴情報の提示機能

針馬 信勝, 工藤 英男

教育システム情報学会関西支部第16回学生によるコンピュータ利用 研究発表会

(2002年03月09日 講演)

局所対象領域の2値化による情景画像からの文字列領域抽出

松尾 賢一, 上田 勝彦, 梅田 三千雄 (阪電通大)

電気学会論文誌, Vol.122-C, No.2, pp.232-241

(2002年2月)

実測データの信号解析による圧延パラメータの推定

近藤 勝也, 久保 俊真

日本鉄鋼協会論文誌 鉄と鋼, 88巻, 6号, pp.314~319

(2002年6月1日)

情景画像に存在するテクスチャ領域の特徴抽出に関する検討

浦西 友樹, 松尾 賢一

電子情報通信学会関西支部学生会 第7回研究発表講演会講演論文集, p.74, 2002

(2002年3月6日 講演)

音響測定のためのサウンドボードの基礎検討

石立 信介, 近藤 勝也

電気学会関西支部 平成13年度高専卒業研究発表会

(2002年3月7日 講演)

情景画像からの道路標識領域抽出に関する研究

横地 裕次, 松尾 賢一

電子情報通信学会関西支部学生会 第7回研究発表講演会講演論文集, p.75, 2002
(2002年3月6日 講演)

情景画像からの自然領域除去に関する研究

山崎 隆一, 松尾 賢一

電子情報通信学会関西支部学生会 第7回研究発表講演会講演論文集, p.76, 2002
(2002年3月6日 講演)

情景画像中の対象物認識の高精度化

不殿 健治, 松尾 賢一

電子情報通信学会関西支部学生会 第7回研究発表講演会講演論文集, p.83, 2002
(2002年3月6日 講演)

RAE-PIA: 複数報酬環境下における最適政策の効率的強化学習

山口 智浩, 石村 健二, 天正 新二郎,
奈良高専研究紀要, 第37号, pp.67-71,
(2002年3月)

Mutual Learning of Mind Reading between a Human and a Life-like Agent

S. Yamada(National Institute of Informatics), T. Yamaguchi,
Intelligent Agents and Multi-Agent Systems (PRIMA2002), K.Kuwabara and J.Lee (Eds.),
Lecture notes in Artificial Intelligence 2417, Springer,pp.138-150,
(2002年8月19日)

LC-Learning, Phased Method for Average Reward Reinforcement Learning _Analysis of Optimal Criteria

Taro Konda, Tomohiro Yamaguchi,
PRICAI2002: Trends in Artificial Intelligence, M.Ishizuka and A.Sattar
(Eds.), Lecture notes in Artificial Intelligence 2417, Springer,
pp.198-207,
(2002年8月20日)

LC-Learning: Phased Method for Average Reward Reinforcement Learning -Preliminary Results -

Taro Konda, Shinjiro Tensyo, Tomohiro Yamaguchi,
PRICAI2002: Trends in Artificial Intelligence, M.Ishizuka and A.Sattar
(Eds.), Lecture notes in Artificial Intelligence 2417, Springer, pp.208-217,
(2002年8月20日)

インタラクション支援のための視線可視化方法の検討

中村 朋章 (大阪大学), 藤本 武司 (大阪大学), 砂山 渡 (大阪大学), 山口 智浩, 谷内田 正彦 (大阪大学)
電子情報通信学会 パターン認識・メディア理解研究会 PRMU2001-204
(2002年1月17日 講演)

人間と擬人化エージェントの読心ゲームによる相互適応

山田 誠二 (東工大), 山口 智浩
情報処理学会 第64回全国大会 特別トラック(2)ヒューマンインタフェース
(2002年3月13日 講演)

LC学習:モデルに基づく段階的平均報酬強化学習手法

誉田 太朗, 天正 新二郎, 山口 智浩
計測自動制御学会第29回知能システムシンポジウム
(2002年3月28日 講演)

人工知能分野における強化学習研究の広がり

山口 智浩

2002年度人工知能学会全国大会（第16回）2A1-03

（2002年5月30日 講演）

モデルに基づく段階的平均報酬強化学習手法

菅田 太朗, 天正 新二郎, 山口 智浩

2002年度人工知能学会全国大会（第16回）2D3-04

（2002年5月30日 講演）

Undiscounted Prioritized Sweeping -最適政策の優先順序付き強化学習の効率化手法-

天正 新二郎, 山口 智浩

2002年度人工知能学会全国大会（第16回）2D3-05

（2002年5月30日 講演）

人間と擬人化エージェントの読心ゲームによる相互適応

山田 誠二 (国立情報学研究所), 山口 智浩

2002年度人工知能学会全国大会（第16回）2B3-06

（2002年5月30日 講演）

文脈依存表情の共有によるヒューマンエージェント間コミュニケーションでの相互適応

山口 智浩, 越智 悠太, 山田 誠二 (国立情報学研究所)

2002年度人工知能学会全国大会（第16回）2B3-07

（2002年5月30日 講演）

相関ルールを用いた視線履歴からの知識発見

藤本 武司 (大阪大学), 中村 朋章 (大阪大学), 砂山 渡 (大阪大学), 山口 智浩, 谷内田 正彦 (大阪大学)

2002年度人工知能学会全国大会（第16回）3C1-05

（2002年5月31日 講演）

Interactive Multiagent Reinforcement Learning with Motivation Rules

Tomohiro Yamaguchi, Ryo Marukawa

Proc. of International Conference on Computational Intelligence and Multimedia Applications 2001 (ICCI-MA'01),

（2001年11月1日 講演）

Mutual Adaptation to Mind Reading in Human-Agent Interaction

S. Yamada(National Institute of Informatics), T. Yamaguchi

Proc. of 11th IEEE International Workshop on Robot and Human Interactive Communication (ROMAN-2002)

（2002年9月25日 講演）

(物質化学工学科)

エポキシライニング材への酸水溶液の浸入

山形 悠介, 井口 高行 (指導)

日本化学会近畿支部第4回工業高等専門学校生研究発表会 (支部長賞受賞)

（2002年3月11日 講演）

混合溶媒中におけるアンチモンポルフィリンの吸収と共鳴ラマンスペクトル

石丸 裕士・菊本 祐子・山本 愛子・寺岡 淳二* (阪市大院・理)*

日本化学会 第81春季年会講演予稿集 (p.1406)

（2002年3月28日 講演）

炭素被覆酸化チタン光触媒を用いた染料含有溶液の脱色

泉 生一郎, 黒田 久美子, 大西 康幸, 津村 朋樹 (ナード研究所), 岩下 哲雄 (産総研)

水処理技術, Vol.42 (No.10), pp.461-465 (2001)

平成13年度高等専門学校教員研究集会（第二班）参加報告

泉 生一郎

平成13年度高等専門学校教員研究集会（第二班）会議録、p.246（2001）

Carbon Coating of Anatase-Type TiO₂ and Photoactivity

T.Tsumura (NARD Institute Co.Ltd.), N.Kojitani (NARD Institute Co.Ltd.), I.Izumi, N.Iwashita (National Institute of Advanced Industrial Science & Technology), M.Toyoda (Fukui National College of Technology), and M.Inagaki(Aichi Institute of Technology)
J. Mater. Chem., Vol.12, pp.1391 - 1396 (2002)

金属酸化物系光触媒およびその製法

泉 生一郎、津村 朋樹（ナード研究所）、稲垣 道夫（愛知工大）、豊田 昌宏（福井高専）
特開2002 - 126537（2002）

大学理工系シリーズ 電気化学

小久見 善八（京大・工）編著、泉 生一郎（分担執筆）
中国科学院科学出版社
（2002年2月 発行）

機能性材料としてのグラファイト層間化合物

泉 生一郎

第17回奈良化学系産官学技術懇話会
（2002年6月7日 講演）

液相法によるグラファイトへの酸化チタン薄膜形成とその光電気化学挙動

上村 恭平、大西 康幸、山口 宏治、津村 朋樹（ナード研究所）、泉 生一郎、岩下 哲雄（産総研）
日本化学会第82秋季年会
（2002年9月26日 講演）

塩化銅グラファイト層間化合物を電極に用いた二酸化炭素のカソード還元

安永 夕香子、大西 康幸、福本 未紗、黒田 久美子（阪市大）、岩下 哲雄（産総研）、泉 生一郎
日本化学会第82秋季年会
（2002年9月26日 講演）

森林土壌における炭素循環に関する研究 第1報：土壌呼吸量及びセルラーゼ活性

伊月 亜有子・生野 恵・西森 由樹・金澤 晋二郎（九大・院・農）
土と微生物, 55, 137

こんなことがいま

伊月 亜有子
土と微生物, 55, 147

世界遺産奈良春日山における原始林土壌の特性解明 ー生物性及び有機物組成ー

金澤 晋二郎（九大・院・農）・○伊月 亜有子・内藤 雅樹・河越 幹男
日本土壌肥料学会 2002年度名古屋大会
（2002年4月2日 講演）

世界遺産奈良春日山における原始林土壌の特性解明 ー炭素代謝に関与する土壌酵素群についてー

○伊月 亜有子・河越 幹男・植田 果奈・金澤 晋二郎（九大・院・農）
日本土壌微生物学会 2002年度大会
（2002年6月6日 講演）

長鎖アルキル基を有するマラカイトグリーン誘導体の合成と物性評価

渡邊 淳壮、宇田 亮子、大植 正敏、木村 恵一（和歌山大システム工）
第7回高専シンポジウム
（2002年1月26日 講演）

マラカイトグリーン高分子の合成と光異性化に伴うレオロジー変化

棚次 智也、宇田 亮子、大植 正敏、木村 恵一 (和歌山大システム工)

第7回高専シンポジウム

(2002年1月26日 講演)

クラウン化マラカイトグリーン含有膜の光電位応答

濱野 友絵、宇田 亮子 (指導)

日本化学会近畿支部第3回工業高等専門学校生研究発表会 (支部長賞)

(2002年3月11日 講演)

クリスタルバイオレット構造を有するトリス (クラウンエーテル) の金属イオンの選択的な吸収スペクトル変化

宇田 亮子、大植 正敏、木村 恵一 (和歌山大システム工)

第63回分析化学討論会

(2002年5月26日 講演)

クラウン化トリフェニルメタン誘導体の金属イオン錯形成とフォトクロミズム

宇田 亮子、大植 正敏、木村 恵一 (和歌山大システム工)

日本化学会第82秋季年会

(2002年9月26日 講演)

Conformational Change Forced by Cesium Ion Complexation in Crystal Violet Derivative Possessing Tris (monoaza-15-crown-5) Structure

R. M. Uda, M. Oue, and K. Kimura (Wakayama University),

Chem. Lett., 1236 (2001)

活性炭による揮発性有機化合物の除去・回収に関する研究

梅原 忠、徳穂 栄次、大澤 卓也、道正 伸、山本 健一、小玉 雅昭 (武田薬品)、高倉 正照 (第和工業)

第7回高専シンポジウム

(2002年1月26日 講演)

高沸点有機溶剤を吸着した活性炭の再生に関する研究

梅原 忠、米野 七海、玉木 良明、美濃部 光彦 (協和発酵)、緑 静雄 (協和油化)、高倉 正照 (第和工業)

第7回高専シンポジウム

(2002年1月26日 講演)

π -配位性化合物をニュートラルキャリアとする液膜型銀イオン選択性電極

大植 正敏、宇田 亮子、木村 恵一 (和歌山大システム工)

日本分析化学会第51年会、講演要旨集 p.377 (北海道大学)

(2002年9月21日 講演)

チアクラウンエーテル修飾シリコーンゴム膜を用いる銀イオン選択性電極

大植 正敏、宇田 亮子、増田 幸平、木村 恵一 (和歌山大システム工)

日本化学会第82秋季年会、講演要旨集 p.225 (大阪大学、豊中キャンパス)

(2002年9月25日 講演)

圧縮成型含塩鉄器からの脱塩処理に及ぼす含フッ素オリゴマーの添加効果

河越 幹男、山口 清美、澤田 英夫、川本 耕三 (元興寺文化財研究所)

日本文化財科学会誌「考古学と自然科学」, 43, 25-39

(2002年2月 発行)

気泡塔を用いたキノコ菌糸の液体培養

伊藤 嘉章, 河越 幹男

第7回高専シンポジウム, A-15

(2002年1月26日 講演)

レーザー透過法を用いた大粒子懸濁気泡塔内の 粒子濃度および粒子径の測定

木原 澄人, 河越 幹男
第7回高専シンポジウム, A-03
(2002年1月26日 講演)

気泡塔研究における最近の動向

河越 幹男
化学工学会第67年会, L208
(2002年3月28日 展望講演)

レーザー透過法による気泡塔内の粒子ホールド アップと粒子径の同時測定

河越 幹男, 木原 澄人
化学工学会第67年会, L213
(2002年3月28日 講演)

レーザー透過法による粒子濃度と粒子径の同時測 定に及ぼす粒子径分布の影響

木原 澄人, 河越 幹男, 野田 秀夫 (関西化学機械製作
株)
化学工学会鳥取大会, C-201
(2002年7月26日 講演)

きのこ菌糸の液体培養における気泡塔内の気液 固混相流

河越 幹男
日本混相流学会2002
(2002年7月29日 講演)

レーザー透過法による粒子濃度と粒子径の同時測 定

木原 澄人, 河越 幹男
化学工学会第35回秋季大会, U-206
(2002年9月19日 講演)

Synthesis and Surface Properties of Novel Fluoroalkyl End-capped Amphiphilic Fullerene Cooligomers

H. Sawada, S. Hata, N. Kawasaki, J. Iidzuka, K.
Tokugi, J. Kyokane, T. Maekawa, and T. Kawase (阪市
大院生科)
Polymer, **43**, 1035 (2002)

Surface Modification of Glass by Fluoroalkylating Agents Having Oxime-blocked Isocyanate Groups

T. Kawase, X. Peng (阪市大院生科), K. Ikeno, and
H. Sawada
J. Adhesion Sci. Technol., **15**, 1305 (2001)

Synthesis and Properties of Novel Fluoroalkyl End-capped Oligomers Containing Silsesquioxane Segments

H. Sawada, H. Yoshioka, R. Ohashi (リンナイ), and
T. Kawase (阪市大生科)
J. Appl. Polym. Sci., in press

Synthesis and Gelation of Fluoroalkyl End-capped Copolymers Containing Glucosyl Segments

H. Sawada, Y. Murai, T. Kawase (阪市大院生科), T.
Minami, and J. Kyokane
J. Appl. Polym. Sci., **85**, 2833 (2002)

Synthesis and Antibacterial Activity of Novel Flu- oroalkyl End-capped Oligomers Containing Ammonium Segments: Application to New Flu- orinated Gelling Materials with an Antibacterial Activity

H. Sawada, Y. Murai, M. Kurachi, T. Kawase (阪市大
院生科), T. Minami, J. Kyokane, and T. Tomita
J. Mater. Chem., **12**, 188 (2002)

Solubilization of Cytochrome *c* in Organic Media with Fluoroalkyl End-capped

N-(1,1-dimethyl-3-oxobutyl)acrylamide Oligomer:
A New Approach to Fluorinated Biocatalyst in Organic Media]
H. Sawada, Y. Hirata, and T. Kawase (阪市大院生科)
Eur. Polym. J., **38**, 1487 (2002)

ブロック化イソシアネートオリゴマーによるセルロース及びポリエステル表面改質

彭 新宏、川瀬 徳三、佐藤 昌子 (阪市大院生科)、池野 宏司、沢田 英夫
繊維学会誌(Sen-i Gakkaishi)、**58**, 91 (2002)

カチオンセグメントを有するブロック化イソシアネートコオリゴマーによる防汚および抗菌・防カビ加工

彭 新宏、佐藤 昌子、川瀬 徳三 (阪市大院生科)、池野 宏司、沢田 英夫、濱田 信夫 (大阪市立環境科学研)、和田 邦身、高橋 佳子 (日本化学繊維検査協会)、吉村 剛 (京大木質科学研)
繊維学会誌、**58**, 163 (2002)

Synthesis of Amphiphilic Fluoroalkyl End-Capped Cooligomers Containing Oxime-blocked Isocyanato Segments: Architecture and Applications of New Self-Assembled Fluorinated Molecular Aggregates

H. Sawada, K. Ikeno, and T. Kawase (阪市大院生科)
Macromolecules, **35**, 4306 (2002)

ヒスタミンセグメントを有するフルオロアルキル基含有コオリゴマー類の合成と応用

沢田 英夫、池野 宏司、川瀬 徳三 (阪市大院生科)
材料技術、**20**, 122 (2002)

Aldol Reaction of Silyl Enol Ether with Benzaldehyde in Water-methanol Solvents Using Fluoroalkyl End-capped Polymer Gels as Reaction Media

H. Sawada, J. Kurachi, T. Maekawa, T. Kawase (阪市大院生科), K. Oharu, H. Nakagawa, and K. Ohira (旭硝子)
Polymer J., **34**, 858 (2002)

Surface Modification of Glass by Oligomeric Fluoroalkylating Agents Having Oxime-blocked Isocyanate Groups

T. Kawase, X. Peng (阪市大院生科), K. Ikeno, and H. Sawada
J. Adhesion Sci. Technol., **15**, 1305 (2001)

摺動面に使用する人工材料のフルオロアルキル化による低摩擦性の獲得

北野 利夫、山野 慶樹 (阪市大医)、川瀬 徳三 (阪市大院生科)、沢田 英夫
日本人工関節学会誌、**30**, 5 (2000)

特殊 (Si系、B系、F系) 界面活性剤

沢田 英夫
油脂化学便覧第4版 (CD-ROM版) 丸善(株)、付録p681 (2002年)、(分担執筆)

End-Capped Fluoroalkyl-Functional Silanes. Part I: Modification of Glass]

T. Kawase (阪市大院生科) and H. Sawada
J. Adhesion Sci. Technol., **16**, 1103 (2002)

End-Capped Fluoroalkyl-Functional Silanes. Part II: Modification of Polymers and Possibility of Multifunctional Silanes

T. Kawase (阪市大院生科) and H. Sawada
J. Adhesion Sci. Technol., **16**, 1121 (2002)

Solubilization of Hibitane into Common Organic Solvents with Self-Assembled Fluorinated Molecular Aggregates: Application to Novel Surface Antibacterial Materials Possessing a Good Oleophobicity

H. Sawada, K. Yanagida, R. Takahashi, Y. Nishikawa, T. Kawase (阪市大院生科), K. Oharu, H. Nakagawa, and K. Ohira (旭硝子)
Polymer J., **34**, 855 (2002)

フッ素により高められた環境適応型抗菌活性材料の開発

沢田 英夫 (研究代表者)
平成12年度～平成13年度科学研究費補助金 [基盤研究 (B)(1)], 研究成果報告書
(平成14年3月)

フッ素の凝集効果が活かされた新しいフッ素系高分子界面活性剤の合成と機能

沢田 英夫
第40回日本油化学会年会ランチョンセミナー
(仙台国際センター、2001年10月 依頼講演)

シルセスキオキサンセグメントを有するフルオロアルキル基含有オリゴマー類の合成と表面特性

沢田 英夫、吉岡 弘晃、大橋 龍成 (リンナイ)、川瀬 徳三 (阪市大院生科)
第40回日本油化学会年会
(仙台国際センター、2001年10月 講演)

表面抗菌活性を有する新しいフルオロアルキル基含有オリゴマー類の合成

沢田 英夫、柳田 堅太、牧乃 瀬格、杉矢 正 (日本化学工業)、川瀬 徳三 (阪市大院生科)
第40回日本油化学会年会
(仙台国際センター、2001年10月 講演)

フルオロアルキル基含有N-(1,1-ジメチル-3-オキソブチル)アクリルアミドオリゴマーによるチトクロームcの固定化と有機溶媒への可溶化

沢田 英夫、平田 裕子、川瀬 徳三 (阪市大院生科)
第40回日本油化学会年会
(仙台国際センター、2001年10月 講演)

種々の抗菌セグメントを有するフルオロアルキル基含有コオリゴマー類の合成と抗菌活性

柳田 堅太 (奈良高専専攻科)、牧乃 瀬格、杉矢 正 (日本化学工業)、川瀬 徳三 (阪市大院生科)、沢田 英夫
2001年度材料技術研究協会討論会
(東京理科大学・野田キャンパス、2001年11月 講演)

シルセスキオキサンセグメントを有する含フッ素オリゴマー類の合成と無機-有機ハイブリッド材料への応用

吉岡 弘晃 (奈良高専専攻科)、川瀬 徳三 (阪市大院生科)、沢田 英夫、
2001年度材料技術研究協会討論会
(東京理科大学・野田キャンパス、2001年11月 講演)

フルオロアルキル基含有N-(1,1-ジメチル-3-オキソブチル)アクリルアミドオリゴマーによるチトクロームcおよび α -キモトリプシンの有機溶媒への可溶化

平田 裕子 (奈良高専専攻科)、川瀬 徳三 (阪市大院生科)、沢田 英夫
2001年度材料技術研究協会討論会
(東京理科大学・野田キャンパス、2001年11月 講演)
[なお、本発表に対して発表者(平田裕子)は2001年材料技術研究協会討論会ポスター賞を受賞]

イソシアナト・ブロックセグメントを有するフルオロアルキル基含有コオリゴマー類の分子集合体形成と応用

沢田 英夫、池野 宏司、川瀬 徳三 (阪市大院生科)
第25回フッ素化学討論会
(ホテル海の中道アクアホール (福岡市)、2001年11月 講演)

アンモニウムセグメントを有するフルオロアルキル基含有オリゴマー類の合成と抗菌活性

沢田 英夫、村井 由佳、蔵地 皆佳、川瀬 徳三（阪市大院生科）、富田 敏夫（東北大院農）

第25回フッ素化学討論会

（ホテル海の中道アクアホール（福岡市）、2001年11月講演）

フルオロアルキル基が末端に導入されたフラーレンコオリゴマー類の合成と性質

沢田 英夫、秦 幸子、川崎 庸仁、川瀬 徳三（阪市大院生科）

第25回フッ素化学討論会

（ホテル海の中道アクアホール（福岡市）、2001年11月講演）

フルオロアルキル基含有N-(1,1-ジメチル-3-オキソブチル)アクリルアミドオリゴマーによるチトクロームcの固定化および可溶化

平田 裕子（奈良高専専攻科）、川瀬 徳三（阪市大院生科）、沢田 英夫

第7回高専シンポジウム

（御坊市民文化会館、2002年1月講演）

カチオンセグメントを有するフルオロアルキル基含有コオリゴマー類ゲルの合成とイオン伝導性

村井 由佳（奈良高専専攻科）、川瀬 徳三（阪市大院生科）、南 俊幸、京兼 純、沢田 英夫

第7回高専シンポジウム

（御坊市民文化会館、2002年1月講演）

フルオロアルキル基含有フラーレンコオリゴマー類の合成と性質

秦 幸子、川瀬 徳三（阪市大院生科）、沢田 英夫

第7回高専シンポジウム

（御坊市民文化会館、2002年1月講演）

シルセスキオキサンセグメントを有するフルオロアルキル基含有オリゴマー類の合成と応用

吉岡 宏晃（奈良高専専攻科）、川瀬 徳三（阪市大院生科）、沢田 英夫

第7回高専シンポジウム

（御坊市民文化会館、2002年1月講演）

種々の抗菌セグメントを有するフルオロアルキル基含有コオリゴマー類の合成

柳田 堅太（奈良高専専攻科）、川瀬 徳三（阪市大院生科）、沢田 英夫

第7回高専シンポジウム

（御坊市民文化会館、2002年1月講演）

フルオロアルキル基含有オリゴマーによるヒビテンの可溶化

沢田 英夫、柳田 堅太、西川 禎一、川瀬 徳三（阪市大院生科）

日本化学会第81回春季年会

（早稲田大学、2002年3月講演）

フルオロアルキル基含有オリゴマー/シリカゲルポリマーハイブリッドの合成

沢田 英夫、吉岡 宏晃、高橋 秀剛、阿部 明美（藤倉ゴム工業）、川瀬 徳三（阪市大院生科）

日本化学会第81回春季年会

（早稲田大学、2002年3月講演）

新規な過酸化フルオロアルカノイルの合成と熱分解

沢田 英夫、飯塚 淳一、蔵地 淳、川瀬 徳三（阪市大院生科）、大春 一也、中川 秀樹、大平 訓弘（旭硝子）

日本化学会第81回春季年会

（早稲田大学、2002年3月講演）

新規な直鎖状および環状のペルフルオロオキサアルキル基が末端に導入された高分子界面活性剤の合成と性質

沢田 英夫、平田 裕子、飯塚 淳一、蔵地 淳、川瀬 徳三
(阪市大院生科)、大春 一也、中川 秀樹、大平 訓弘
(旭硝子)
日本化学会第81回春季年会
(早稲田大学、2002年3月 講演)

フルオロアルキル基含有オリゴマー類によるフラーレンの水への可溶化

沢田 英夫、飯塚 淳一、蔵地 淳、川瀬 徳三 (阪市大院生科)、大春 一也、中川 秀樹、大平 訓弘 (旭硝子)
日本化学会第81回春季年会
(早稲田大学、2002年3月 講演)

イオン性液体存在下でのフルオロアルキル基含有2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸オリゴマーのゲル化とイオン伝導性

沢田 英夫、南 俊幸、森島 香奈、京兼 純、川瀬 徳三 (阪市大院生科)、大春 一也、中川 秀樹、大平 訓弘 (旭硝子)、北爪 智哉 (東工大院生命理工)
日本化学会第81回春季年会
(早稲田大学、2002年3月 講演)

フルオロアルキル基含有オリゴマーゲルを反応媒体とした水-メタノール溶媒中でのシリルエノールエーテルとベンズアルデヒドとのアルドール反応

沢田 英夫、蔵地 淳、川瀬 徳三 (阪市大院生科)、大春 一也、中川 秀樹、大平 訓弘 (旭硝子)
日本化学会第81回春季年会
(早稲田大学、2002年3月 講演)

フルオロアルキル基含有N-(1,1-ジメチル-3-オキソブチル)アクリルアミドコオリゴマーゲルの合成および親水性化合物との相互作用

沢田 英夫、藤澤 明子、川瀬 徳三 (阪市大院生科)
日本化学会第81回春季年会
(早稲田大学、2002年3月 講演)

フルオロアルキル基含有2-アミノエチルメタクリレート塩酸塩ホモおよびコオリゴマー類の合成と抗菌活性

沢田 英夫、村井 由佳、蔵地 皆佳、西川 禎一、川瀬 徳三
(阪市大院生科)、富田 敏夫 (東北大院農)
日本化学会第81回春季年会
(早稲田大学、2002年3月 講演)

フルオロアルキル基含有フラーレンコオリゴマー存在下におけるルミノールの化学発光

沢田 英夫、秦 幸子、川瀬 徳三 (阪市大院生科)
日本化学会第81回春季年会
(早稲田大学、2002年3月 講演)

フッ素の凝集作用が活かされた新しいフッ素系高分子化合物の合成とその用途展開

沢田 英夫
F&F第2回研修会
(日本ゼオン伊東研修所、2002年3月 講演)

フッ素の凝集作用が活かされた新しいフッ素系機能性材料の開発とその応用

沢田 英夫
フッ素化学のフロンティア-医薬・農薬・新機能性材料を中心に
(薬業健保会館 (東京)、2002年5月 講演)

アンモニウムセグメントを有するフルオロアルキル基含有オリゴマー類の合成と抗菌活性

沢田 英夫、村井 由佳、西川 禎一、川瀬 徳三 (阪市大院生科)、富田 敏夫 (東北大院農)
第48回高分子研究発表会 (神戸)
(兵庫県民会館、2002年7月 講演)

フルオロアルキル基含有N-(1,1-ジメチル-3-オキソブチル)アクリルアミドコオリゴマーゲルの合成と親水性化合物との相互作用

沢田 英夫、藤澤 明子、川瀬 徳三 (阪市大院生科)
第48回高分子研究発表会 (神戸)
(兵庫県民会館、2002年7月 講演)

フルオロアルキル基含有オリゴマーゲルを反応媒体とした水-メタノール溶媒中でのシリルエノールエーテルとベンズアルデヒドとのアルドール反応

沢田 英夫、蔵地 淳、前川 智美、川瀬 徳三 (阪市大院生科)、大春 一也、中川 秀樹、大平 訓弘 (旭硝子)
第48回高分子研究発表会 (神戸)
(兵庫県民会館、2002年7月 講演)

フルオロアルキル基含有オリゴマー類によるフラーレンの水への可溶化

沢田 英夫、飯塚 淳一、川瀬 徳三 (阪市大院生科)、大春 一也、中川 秀樹、大平 訓弘 (旭硝子)
第48回高分子研究発表会 (神戸)
(兵庫県民会館、2002年7月 講演)

Synthesis and Biological Properties of Fluoroalkyl End-capped Oligomers

H. Sawada, T. Kawase (阪市大院生科)、M. Baba (鹿児島大医)、T. Tomita (東北大院農)
International Symposium on Bioorganic Chemistry 2002 (ISBOC)
(University of Toronto, Toronto, Ontario, Canada, 2002年8月 講演)

Synthesis of Fluoroalkyl End-capped N-(1,1-dimethyl-3-oxobutyl)acrylamide Homo- and Co-oligomers Application to New Fluorinated Polymeric Antibacterial Agents

H. Sawada, Y. Murai, K. Yanagida, Y. Nishikawa, T. Kawase (阪市大院生科), and T. Tomita (東北大院農)
International Symposium on Bioorganic Chemistry 2002 (ISBOC)
(University of Toronto, Toronto, Ontario, Canada, 2002年8月 講演)

Synthesis of Fluoroalkyl End-capped Amphiphilic Fullerene Co-oligomers

H. Sawada, J. Iidzuka, S. Hata, T. Maekawa, T. Kawase (阪市大院生科), K. Oharu, H. Nakagawa, K. Ohira (旭硝子), T. Tomita (東北大院農), M. Baba (鹿児島大医)
International Symposium on Bioorganic Chemistry 2002 (ISBOC)
(University of Toronto, Toronto, Ontario, Canada, 2002年8月 講演)

Synthesis of Novel Fluoroalkyl End-capped N-(1,1-dimethyl-3-oxobutyl)acrylamide Cooligomer Gels Application to New Fluorinated Drug Delivery Systems

H. Sawada, A. Fujisawa, and T. Kawase (阪市大院生科)
International Symposium on Bioorganic Chemistry 2002 (ISBOC)
(University of Toronto, Toronto, Ontario, Canada, 2002年8月 講演)

Immobilization of Cytochrome *c* by the Self-Assembled Molecular Aggregates of Fluoroalkyl End-Capped Oligomers

H. Sawada, Y. Hirata, and T. Kawase (阪市大院生科)
Buffalo International Symposium on Bioorganic Reaction Mechanisms
(University at Buffalo, State University of New York, Buffalo, New York, USA, 2002年8月 講演)

Aldol Reactions of Silyl Enol Ethers with Benzaldehyde in Water-Methanol Solvents Using Fluoroalkyl End-Capped Oligomer Gels as Reaction Media

H. Sawada, J. Kurachi, T. Maekawa, T. Kawase (阪市大院生科), K. Oharu, H. Nakagawa, and K. Ohira (旭硝子)
224th ACS National Meeting
(Hynes Convention Center, Boston, MA, USA, 2002年、8月 講演)

Solubilization of Fullerene into Water with Fluoroalkyl End-Capped Oligomers

H. Sawada, J. Iidzuka, T. Maekawa, T. Kawase (阪市大院生科), K. Oharu, H. Nakagawa, and K. Ohira (旭硝子)

224th ACS National Meeting

(Hynes Convention Center, Boston, MA, USA, 2002年、8月 講演)

Synthesis of Novel Fluoroalkyl End-Capped N-(1,1-dimethyl-3-oxobutyl)acrylamide Cooligomer Gels and Interaction of These Fluorinated Gels with Various Hydrophilic Compounds

H. Sawada, A. Fujisawa, and T. Kawase (阪市大院生科)

224th ACS National Meeting

(Hynes Convention Center, Boston, MA, USA, 2002年、8月 講演)

Solubilization of Hibitane with Fluoroalkyl End-Capped N-(1,1-dimethyl-3-oxobutyl)acrylamide Oligomers

H. Sawada, Y. Murai, K. Yanagida, Y. Nishikawa, T. Kawase (阪市大院生科), K. Ohira, H. Nakagawa, and K. Ohira (旭硝子)

224th ACS National Meeting

(Hynes Convention Center, Boston, MA, USA, 2002年、8月 講演)

撥油性、防汚性、吸水性に優れたセルロース系繊維

小沢 一郎、中瀬 一博、大島 邦裕、金谷 薫、勝圓 進 (倉敷紡績)、沢田 英夫

特願2002-81091

(平成14年3月22日 出願)

表面処理組成物およびゴムの表面処理方法

高橋 秀剛 (藤倉ゴム工業)、沢田 英夫

特願2002-056741

(平成14年3月4日 出願)

表面処理組成物および表面処理方法

高橋 秀剛 (藤倉ゴム工業)、沢田 英夫

特願2002-056742

(平成14年3月4日 出願)

反応媒体ゲルおよびその製造方法

大平 訓弘、中川 秀樹、大春 一也 (旭硝子)、沢田 英夫

特願2002-058801

(平成14年3月5日 出願)

イオン伝導性ゲルおよびその製造方法

大平 訓弘、中川 秀樹、大春 一也 (旭硝子)、沢田 英夫、京兼 純

特願2002-60240

(平成14年3月6日 出願)

抗菌剤支持体

大平 訓弘、中川 秀樹、大春 一也 (旭硝子)、沢田 英夫

特願2002-63467

(平成14年3月8日 出願)

発光増感剤

大春 一也、大平 訓弘、中川 秀樹 (旭硝子)、沢田 英夫

特願2002-58613

(平成14年3月5日 出願)

親水性フラーレン組成物

大春 一也、大平 訓弘、中川 秀樹 (旭硝子)、沢田 英夫

特願2002-50106

(平成14年2月26日 出願)

Fluoro-Polymer and its Use

島崎 憲彦、山田 明、中山 修、正保 美和子、中島 淑光 (藤沢薬品)、沢田 英夫

オーストラリア特許出願番号： PR0850

(出願日：2000/10/18)

Fluoro-Polymer and its Use

島崎 憲彦、山田 明、中山 修、正保 美和子、中島
 淑光 (藤沢薬品)、沢田 英夫
 オーストラリア特許出願番号： PR3754
 (出願日：2001/3/15)

Polymer and its Use

島崎 憲彦、山田 明、中山 修、正保 美和子、中島
 淑光 (藤沢薬品)、沢田 英夫
 オーストラリア特許出願番号： PR7382/01
 (出願日：2001/8 / 30)

Polymer and its Use

島崎 憲彦、山田 明、中山 修、正保 美和子、中島
 淑光 (藤沢薬品)、沢田 英夫
 PCT特許出願番号： PCT/JP01/07958
 (出願日：2001/9/13)

ゴムの表面処理方法

高橋 秀剛 (藤倉ゴム工業)、沢田 英夫
 特願2002-229460
 (出願日：平成14年8月7日)

ゴム製品の製造方法

高橋 秀剛 (藤倉ゴム工業)、沢田 英夫
 特願2002-229461
 (出願日：平成14年8月7日)

ゴムの表面処理方法、ゴム製品の製造方法、ゴ
 ム組成物、ゴム成形品およびその製造方法

高橋 秀剛 (藤倉ゴム工業)、沢田 英夫
 P C T / J P 02 / 08116
 (出願日：平成14年8月8日)

Esterification by *Rhizopus delemar* lipase in
 organic solvent using sugar ester reverse
 micelles

Naoe, K., Ohsa, T., Kawagoe, M., and Imai, M. (Nihon Univ.)
 Biochem. Eng. J., 9, 67-72 (2001)

Efficacy of guanidium salts in protein recovery
 from reverse micellar organic media

Naoe, K., Murata, M., Ono, C., Kawagoe, M., and Imai,
 M. (Nihon Univ.)
 Biochem. Eng. J., 10, 137-142 (2002)

シュガーエステル逆ミセル有機溶媒による高分
 子量タンパク質の抽出挙動

遠山 麻依、太佐 友美、直江 一光、河越 幹男、今井 正直
 (日本大学)
 化学工学会第67回年会 (福岡工業大学), J215
 (2002年3月29日 講演)

Hydrolysis behavior of triglycerides by *Rhizopus*
delemar lipase in reverse micellar organic sol-
 vents

Naoe, K., Yamada, Y., Awatsu, S., Kawagoe, M.,
 Nagayama, K. (Kochi National College of Technol.),
 and Imai, M. (Nihon Univ.)
 15th International Symposium on Plant Lipids
 (Okazaki), P-7-8
 (May 14, 2002 講演)

Lipase-catalyzed hydrolysis of triglycerides in
 AOT reverse micellar organic solvents

Naoe, K., Yamada, Y., Awatsu, S., Kawagoe, M.,
 Nagayama, K. (Kochi National College of Technol.),
 and Imai, M. (Nihon Univ.)
 International Congress on Biocatalysis 2002
 (Hamburg, Germany), P056
 (July 29, 30, 2002 講演)

Lipase-catalyzed esterification in microemulsion-
 based organigels

Nagayama, K. (Kochi National College of Technol.),
 Tada, K. (Kochi National College of Technol.), Naoe,
 K., and Imai, M. (Nihon Univ.)
 International Congress on Biocatalysis 2002
 (Hamburg, Germany), P038
 (July 29, 30, 2002 講演)

シュガーエステル逆ミセルを用いた高分子量タンパク質の抽出条件

直江 一光, 遠山 麻依, 太佐 友美, 河越 幹男, 今井 正直
(日本大学)

日本食品工学会第3回年次大会 (大田区産業プラザ, 東京), PF-7

(2002年8月7日 講演)

様々な溶媒により調製された逆ミセル系におけるタンパク質の立体構造とその抽出挙動

直江 一光, 乃田 一樹, 河越 幹男, 今井 正直 (日本大学)

化学工学会第35回秋季大会 (神戸大学), N215

(2002年9月19日 講演)

Mechanistic study on the role of the NAD^+ -NADH ratio in the glycolytic oscillation with a pyruvate sensor

Shin-ichi Yamazaki (Kyoto univ.), Kojiro Miki, Kenji Kano (Kyoto univ.) and Tokuji Ikeda (Kyoto univ.)

Journal of Electroanalytical Chemistry, 516, pp.59-65
(2001)

電気化学測定法の日本酒醸造工程への応用

三木 功次郎, 谷畑 直丈, 加納 健司 (京大大学院), 池田 篤治 (京大大学院)

日本農芸化学会大会

(2002年3月26日 講演)

過酸化水素バイオセンサを用いたアスコルビン酸の定量

三木 功次郎・木村 錬・谷畑 直丈, 植松 宏彰 (株)東洋紡総合研究所), 中島 隆 (株)東洋紡総合研究所)

日本食品科学工学会第49回大会

(2002年8月31日 講演)

電気化学測定法を用いた米麴の活性測定

三木 功次郎, 谷畑 直丈, 今井 泰彦 (キッコーマン(株))

平成14年度日本醸造学会大会

(2002年9月10日 講演)

(一般教科)

On the extensions of single valued continuous and set valued usc maps

池永 彰吾, 新田 眞一 (四条畷学園短期大学), 吉岡 巖 (岡山大学理学部)

Mathematical Journal of Okayama University, Vol. 43(2001), pp. 95-103

(2002年6月24日)

Logic Programming in a Fragment of Intuitionistic Temporal Linear Logic

Mutsunori Banbara, Kyoung-Sun Kang (Pusan University of Foreign Studies), Takaharu Hirai (Graduate School of Science and Technology, Kobe University) Naoyuki Tamura (Kobe University)

In Proceedings of the 17th International Conference on Logic Programming (ICLP'01), pages 315-330, Lecture Notes in Computer Science 2237, Springer

(2001年11月)

時相線形論理型言語のコンパイラ処理系のための抽象機械について

番原 睦則, 姜 京順 (プサン外国語大学), 田村 直之 (神戸大学)

情報処理学会論文誌: プログラミング, Vol. 42, No. SIG 11 (PRO 12), pages 52-66

(2001年11月)

LLP: 線形論理型言語コンパイラ処理系を用いた定理証明システム

田村 直之 (神戸大学), 番原 睦則

日本ソフトウェア科学会第19回大会

(2002年9月13日 講演)

異なるリボン型をもつ二次元リボン結び目

安田 智之

日本数学会2001年度秋季総合分科会

(2001年10月4日 講演)

異なるリボン型をもつ二次元リボン結び目

安田 智之

日本数学会2001年度秋季総合分科会トポロジー分科会
講演アブストラクト, pp.27-28.
(2001年10月)

Crossing and base numbers of ribbon 2-knots

Tomoyuki Yasuda

Journal of Knot Theory and its Ramifications, Vol.10,
No.7, pp.999-1003.
(November 2001)

異なるリボン型をもつリボン結び目 II

安田 智之

研究会・結び目のトポロジー IV、
(2001年12月19日講演)

異なるリボン型をもつリボン結び目 II

安田 智之

研究会「結び目のトポロジー IV」報告集, pp.183-
191.
(2002年2月)

二次元リボン結び目のもろて型

安田 智之

弓削商船高等専門学校紀要24, pp.145-147.
(2002年2月)

結び目とそのスパン結び目との crossing 数比較 II

安田 智之

日本数学会2002年度年会
(2002年3月29日講演)

結び目とそのスパン結び目との crossing 数比較 II

安田 智之

日本数学会2002年度年会トポロジー分科会講演アブ
ストラクト, pp.11-12.
(2002年3月)

二次元リボン結び目のもろて型について

安田 智之

日本数学会2002年度秋季総合分科会、
(2002年9月26日講演)

二次元リボン結び目のもろて型について

安田 智之

日本数学会2002年度秋季総合分科会トポロジー分科会
講演アブストラクト, pp.41-42.
(2002年9月)

意識の量子論；マイクロチューブルの場の理論

松居 哲生(近畿大学)、榊原 和彦

素粒子論研究 105 (2002), D48
(2002年7月 日)

マイクロチューブルの場の量子論とデコヒーレンスタイム

松居 哲生(近畿大学)、榊原 和彦

日本物理学会
(2002年3月24日 講演)

意識の量子論；マイクロチューブルの場の理論

松居 哲生(近畿大学)、榊原 和彦

場の量子論の基礎的問題と応用(基礎物理学研究所)
(2001年12月21日 講演)

二重井戸型ポテンシャル系における長時間相関と局在化転移

青木 健一、堀越 篤史(金沢大学)、榊原 和彦

日本物理学会
(2002年9月6日 講演)

構成粒子の質量差があるときのクンマー方程式の数値解

渡川 健(近畿大学)、田中 富士男、宮本 止戈雄

近畿大学理工学部研究報告、第38号、p.p.1-9
(2002年9月30日)

Study of Pd double structure system for deuterium charging

S. Umisedo (Osaka Univ.), K. Sugimoto (Osaka Univ.),
H. Toki (Osaka Univ.), Y. Takahashi (Osaka Univ.), S. Toki
Genshikaku kenkyuu, 47, p81-92 (2002)

比較教育社会史の可能性と広がり

橋本 伸也 (京都府立大学)、松井 良明
教育史学会第45回大会 (上越教育大学)
(2001年9月30日 講演)

不法な遊戯：英国スポーツの近代化と刑法

松井 良明
東海体育学会第10回研究会 (愛知県青年会館)
(2001年10月13日 講演)

2000年スポーツ史関連文献書誌

中房 敏朗 (仙台大学)、松井 良明、鈴木 純子 (東京
YMCA 体育学校)
『スポーツ史研究』15、101-127頁
(2002年3月)

有賀郁敏他著『スポーツ』近代ヨーロッパの探求8

松井 良明 (共著)
執筆分担「失われた民衆娯楽：イギリスにおけるアニ
マル・スポーツの禁圧過程」99-143頁
ミネルヴァ書房
(2002年5月)

19世紀イングランドにおける祝祭の変容と「フ
ォークダンス復興運動」：オックスフォードシャ
とロンドンの五月祭を手がかりにして

松井 良明
比較教育社会史研究会
(2002年9月23日 講演)

Henry Jamesの曖昧さの解明に向けて
- What Maisie Knew の場合 -

片山 悦男
京大英文学会
(平成13年11月10日 講演)

「小学校英語活動に対する中・高英語教員の態度
及び意識に関する研究」

JASTEC 関西支部調査研究プロジェクト・チーム 金澤
直志 樋口 忠彦 (近畿大学) 加賀田 哲也 (大阪商業大
学) 篠原 陽子 (関西学院大学) 他
日本児童英語教育学会 (JASTEC) 2001-2002研究紀要、
第21号、pp.19-43
(2002年3月31日)

「小学校英語活動と中・高英語教員の意識」小ム
中の連携を中心に

金澤 直志 樋口 忠彦 (近畿大学) 加賀田 哲也 (大阪商
業大学) 衣笠 知子 (大阪外国語大学大学院)
英語教育2002年9月号、第51巻6号、pp.43-47
(2002年9月1日)

「小学校英語活動に対する中・高教員の意識調査」

金澤 直志 加賀田 哲也 (大阪商業大学) 衣笠 知子 (大
阪外国語大学大学院)
英語授業研究学会第13回秋季研究大会
(2001年11月25日 講演)

「Chapter 2: Chatterboxes」Pinker, S. (1994) The
Language Instinct, William Morrow and
Company, Inc., New York: NY.

金澤 直志
日本児童英語教育学会 (JASTEC) 関西支部論文研究紹介
研究部会
(2001年12月16日 講演)

「Predictable Input から Outputへ」意志や考え
を明確に主張する能力の育成を目指して

金澤 直志
英語授業研究学会第118回例会
(2002年5月25日 講演)

小学校英語活動を成功させるためのアイデア、
「子供が夢中になるストーリーテリング」

金澤 直志

日本児童英語教育学会 (JASTEC)

(2002年5月26日 講演)

“The Twelfth Night” by William Shakespeare シェイクスピア作『十二夜』

翻訳・台本構成および上演指導・演出 (大和高田市後援)

神沢 和明

大和高田市市民劇団「さざんか」公演、野外能舞台桜華殿

(2002年5月11日)

おとなの勝手、の前でこどもは

神沢 和明

「演劇会議」全日本リアリズム演劇会議、第107号、pp56-59

(2001年11月12日)

葉桜の頃に

神沢 和明

「悲劇喜劇」早川書房、第55巻 第7号、pp64-67

(2002年7月1日)

地域にこだわる、表現にこだわる

神沢 和明

「悲劇喜劇」早川書房、第55巻 第1号、pp70-73

(2002年1月1日)

死んだ男たちが残したものは

神沢 和明

「演劇会議」全日本リアリズム演劇会議、第109号、pp54-58

(2002年7月6日)

HEPホール「女性作家・演出家フェスティバル
～姫ごと～」

神沢 和明

「テアトロ」カモミール社、第719号、pp38-39

(2002年3月1日)

斑鳩町主催第4回「演劇講座 (全6回)」及び発表会の制作・指導

(2002年8月3日 発表会)

2001年演劇界の収穫

神沢 和明

「悲劇喜劇」早川書房、第55巻 第3号、pp42

(2002年3月1日)

アジア演劇祭 in 関西

神沢 和明

「悲劇喜劇」早川書房、第55巻 第10号、pp46-49

(2002年10月1日)

「新生そとばこまち」のスタート

神沢 和明

「悲劇喜劇」早川書房、第55巻 第4号、pp52-55

(2002年4月1日)

C・ロセッティの宗教詩とG・M・ホプキンズ

高橋 美帆

日本英文学会中四国支部第54回大会

(徳島大学 2001年10月27日 研究発表)

いつもと違う事をする、良くも悪くも

神沢 和明

「演劇会議」全日本リアリズム演劇会議、第108号、pp78-83

(2002年4月8日)

ホプキンズの恋歌——天上の恋人クリスティーナ・ロセッティによせて

高橋 美帆

『POIESIS』(関西大学英語英米文学会) 第28号 19～45頁

(2001年12月15日)

乏しき時代の乏しき詩人——19世紀後半の「詩と信仰」の一位相

高橋 美帆

日本比較文学会関西支部例会

(関西大学 2002年4月13日 研究発表)

「名もなき女性」の語り——ヴィクトリア朝詩文学における修道女のテーマ

高橋 美帆

日本英文学会第74回大会

(北星学園大学 2002年5月26日 研究発表)

Gerard Manley Hopkins における〈斑の美〉
“Pied Beauty”

高橋 美帆

日本現代英米詩学会第15回大会

(神戸女学院大学 2002年6月29日 研究発表)

「仏舎利と宝珠—釈迦を慕う心—」展にちなんで

大矢 良哲

「関西工業教育協会高専部会だより」第49号 (関西工業教育協会), 13・14p

(2001年12月)

十一面観音菩薩の表現と展開

大矢 良哲

奈良文化財同好会会誌 (奈良文化財同好会), 11-13p

(2002年5月)

西大寺秋篠寺相論絵図について

大矢 良哲

奈良文化財同好会会誌 (奈良文化財同好会), 14-17p

(2002年5月)

失いたくない奈良の風景—何を残し、どう生かすか—

大矢 良哲

奈良県立大学・地域創造に関する全国ネットワーク研究交流会

(2002年7月21日 講演)

書評—石堂清倫『20世紀の意味』(平凡社)

木村 倫幸

『季報・唯物論研究』第78号、pp.166～169

(2001年11月)

書評—高野和明『13階段』(講談社)

木村 倫幸

『季報・唯物論研究』第78号、pp.176～179

(2001年11月)

書評—社会主義理論学会『21世紀社会主義への挑戦』(社会評論社)

木村 倫幸

『季報・唯物論研究』第79号、pp.181～189

(2002年2月)

書評—渡辺憲正『イデオロギー論の再構築』(青木書店)

木村 倫幸

『季報・唯物論研究』第80号、pp.164～168

(2002年5月)

書評—シービンガー『ジェンダーは科学を変える!?!』(工作舎)

木村 倫幸

『季報・唯物論研究』第81号、pp.123～127

(2002年8月)

語誌14項目「まき(任き)」「まく(任く)」「まつる」「みる(廻る)」「むかさく」「みなそそく」「ももきね」「やすし」「やすみしし」「やすむ」「よい」「よく」「よろし」「よろしなえ」

鍵本 有理

『日本国語大辞典』第二版 第12巻～第13巻

(2001年12月20日～2002年1月10日)

自分史をつくろう

鍵本 有理

奈良県社会教育センター「生涯学習推進指導者養成研修」にて講演

(2002年8月1日 講演)

夏目漱石『坊っちゃん』の「乱暴者」

武田 充啓

国文学年次別論文集 平成十一年度版近代分冊

(2001年12月)

